

04月24日(取次搬入)発売予定!

人民とはなにか?

A・バディウ／P・ブルデュー／J・バトラー／G・D・ユベルマン／S・キアリ／J・ランシエール 著
市川崇 訳

「シャルリー・エブド」事件や〈イスラム国〉などの国際テロリズムは、湾岸戦争以来のアメリカの拡張的な世界戦略の結果によることが次第にはっきりしてきました。この新自由主義的グローバリズムは、貧富の格差を拡大する不安定要因であることがはっきりしてきました。本書は、こうした世界戦略に抗する革新的主体としての「人民」概念を洗い直し、その再興を促す、世界的に著名な6名の思想家による論集です。

【著者紹介】

- アラン・バディウ (Alain Badiou)
1937年生まれ。現代フランスを代表する哲学者、作家。国立高等師範学校フランス現代哲学国際研究センター所長。著書に『 Kommunismusの仮説』(水声社)など。
- ピエール・ブルデュー (Pierre Bourdieu)
(1930-2002) 社会学者。アルジェ大学、社会科学高等研究院を経てコレージュ・ド・フランス教授。著書に『ディスタクシオン』(藤原書店)など。
- ジュディス・バトラー (Judith Butler)
1956年生まれ。カリフォルニア大学バークレー校。修辞学・比較文学教授。哲学専攻。主な著書に『ジェンダー・トラブル』(青土社)、『生のあやうさ』(以文社)など。
- ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン (Georges Didi-Huberman)
1953年生まれ。美術史家、哲学者。国立社会科学研究院准教授。著書に『残存するイメージ』(人文書院)など。
- サドリ・キアリ (Sadri Khari)
1958年生まれ。政治学博士。共和国原住民運動 (MIR) の創設者。
- ジャック・ランシエール (Jacques Rancière)
1940年生まれ。哲学者。パリ第8大学名誉教授。著書に『民主主義の憎悪』(インスクリプト)など。

【訳者紹介】

市川 崇 (いちかわ たかし)
1962年、大阪生まれ。1997年パリ第7大学博士課程修了。現在、慶應義塾大学文学部教授。
著書にL'opération fictive et la conception du sujet chez Goerges Bataille (博士論文)のほか、『ユートピアの文学世界』(2008年)、『フランス文学をひらく』(2010年、ともに共著、慶應義塾大学出版会)など。
訳書に、アラン・バディウ＋ニコラ・トリュオン『愛の世紀』(2012年)アラン・バディウ『 Kommunismusの仮説』(2013年、共に水声社)がある。

【目次】

「人民」という語の使用に関する二四の覚書き — アラン・バディウ
「大衆的(人民の)」と言ったのですか? — ピエール・ブルデュー
われわれ人民—集会の自由についての考察 — ジュディス・バトラー
可感的にする — ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン
人民と第三の人民 — サドリ・キアリ
不在のポピュリズム — ジャック・ランシエール
解題 市川崇

既刊関連書: 『生のあやうさ』『民主主義は、いま?』『火によって』

四六判 上製カバー装 228頁 本体価格:2,400円 (定価:2,592円)
希望陳列コーナー:現代思想・社会思想

以文社 ISBN 978-4-7531-0325-6 C0010 本体価格:2,400円 (定価:2,592円)		
帳合・番線	ご希望冊数	書名
		<h2>人民とはなにか?</h2> <p>A・バディウ、J・バトラー、J・ランシエール、他 著 市川崇 訳</p>

※指定配本の都合上04月16日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。